

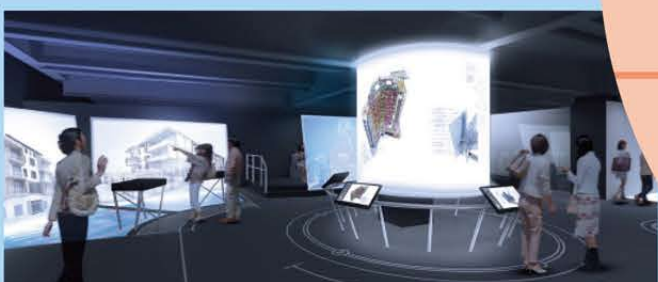
その先の未来に向かって、 創業80周年プロジェクト、 着々と始動。

長谷工コーポレーション、及び長谷工グループが創り、関わり、そして守るもの。
それは「都市」であり、そこに住む「人」であり、それらを取り囲む「自然環境」です。
そのために私たちが新しく取り組みはじめた、“未来を創る・つなげる”プロジェクトをご紹介します。



都市

これまで培ってきた、マンション分野における研究・技術開発の情報や、“暮らしや環境、街づくりへの想い”を伝えます。



人

マンションの建設、販売、管理、修繕や
その他事業のさまざまな場面で活躍する
社員たちの“環境・社会活動宣言”。

未来の形は
「少しずつ」から



環境

これまで取り組んできた生物多様性
や緑地保全活動に加え、より主体的
に、継続的に自然環境保護を実行して
いくための取り組みを開始しました。



次の100周年、
さらにその先の未来へ
創って、つなぐ。

長谷工コーポレーション常務執行役員
創業80周年事業プロジェクト委員長 岡田 裕



80周年を迎えるにあたって

長谷工コーポレーションは、今年の2月11日に創業80周年を迎えました。そのちょうど1年前、周年事業プロジェクトを考えるためグループを横断するワーキンググループが立ち上がり、自由な発想でさまざまな意見が交わされました。80周年はひとつの通過点です。100周年、さらにその先の命題とは何か、求心力を生む企画とは何かを考えることは、未来を創る若い社員たちにとっても、歴史を託す我々世代の社員にとっても、それ自体とても意義のある取り組みでした。

忘れてはいけない感謝の念

時間の経過とともに、バブル崩壊後厳しい経営危機に直面した長谷工の姿を知らない社員も増えていきます。しかし、苦境に立たされ、文字通り途方に暮れた社員もいたなか、厳しくご指導いただきながらも温かく見守り、支援して下さったステークホルダーの方々の存在を、私たちは決して忘れません。80年の歴史にそうしたお力添えがあったことを記憶に留め、是が非でも次世代へ伝えていく。その決意として、プロジェクトのキーワードのひとつを皆さまへの“感謝”という言葉としました。



人財の力、グループシナジーの重要性

そしてもうひとつ忘れてならないのは、苦しいときも仕事へのプライドを失わず、目の前の課題をひとつずつ解決へと導き、組織のリストラチャリングを共に成し遂げた社員たちの存在です。改めて、人財に恵まれたことを“誇り”に思い、ひとりではできないことも仲間がいれば成し遂げられる、新しい未来を創ることができると確信しました。この考察を踏まえ、グループ内の業務内容や仲間をより深く知ることで、今後一層のグループシナジーを発揮することに力を入れてまいります。



周年ロゴマークに込められた意味と約束

こうした想いが形となった80周年のロゴマークは、「チーム長谷工」を象徴しています。長谷工グループの仕事には、終わりがありません。お客様のあらゆるライフステージで期待にお応えするため、グループ各社が連携し、ひとつのチームとなってお客様の人生をパトンのようにつないでいきます。そしてそのパトンは、これまで脈々と受け継がれた80年分の社員のスピリットも乗せています。新生・HASEKOとなったこれからも、この大切なパトンをつなぎ、前進していくことこそが私たちの未来への約束です。

